

## 編 集 後 記

- ◆きべりはむし第29巻第2号をお届けします。
- ◆今回は常連の方々に加えて、新しく入会された矢田さん、山本さんからの投稿がありました。身近な観察記録の報告、ありがとうございます。とくに矢田さんのアゲハチョウの飼育記録は、普段見慣れているはずのアゲハチョウの仲間ですが、ここまで克明に習性を記録したものはあまり例がなく、編集子にとってはじめての見聞もありました。地方同好会は新記録や新知見の報告だけでなく、身の回りの記録の積み重ねが大切な使命であると考えています。世紀の大発見は専門誌や学会誌等にお任せするとして、身近な記録の集積を今後も続けていきたいと思っておりますので、過去の報告例があるかどうかにかかわらず、ともしお寄せください。
- ◆芦屋市の西さんからは、芦屋市の蝶について整理していただきました。編集子は学生時代まで西宮市に住んでいたため、奥池からおたふく山にかけてのあたりへはよく出かけた記憶があります。今ではかなり山奥まで住宅開発が進み、蝶にとって住みにくい環境になっているはずですが、思ったより多くの蝶が生息しているようでうれしく思っています。
- ◆ブタクサハムシはわずか数年にして兵庫県をほぼ制覇したようです。このような外来昆虫の発生消長は、時として予想もつかない展開をみせることがあります。それを的確に把握するには、やはり身近な観察からということなりそうです。
- ◆今回は短報が充実しました。兵庫県は広く、各地での話題が豊富にあるはずで、このコーナーを充実することも地方同好会誌の使命の一つと考えています。数回前から報文と短報に分けて目次を記載しているのもそのためです。今後もこれぐらいのボリュームを保てるよう、皆さんのご協力をお願いいたします。
- ◆本会では難しい投稿規程などは定めていませんが、書き方やまとめ方がわからないため投稿を躊躇される方も多いのではないかと思います。もし、不安な場合は事務局までご相談ください。

- 
- ◆次回の「きべりはむし」の発行は2002年5月です。締切は3月末日ですが、原稿は常時受け付けています。兵昆通信でもお知らせしているとおり、e-mailでも受け付けていますので、気軽に御一報ください。短報はメモ程度でも結構です。

(編集担当 高島 昭)

きべりはむし 第29巻 第2号

2001年11月25日発行

発行： 兵庫昆虫同好会

編集： 近藤伸一・高島昭

事務局,原稿送付先：  
〒671-2201 姫路市書写2542-2 高島 昭 方  
e-mail akira-takashima@mti.biglobe.ne.jp

郵便振替口座： 01170-3-26646

印刷： 岩峰社・東京